

園和北小学校の現状と課題（全国学力・学習状況調査をもとに）

冬の訪れとともに、平成 29 年も残り少なくなってきました。日頃から本校教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

毎年 4 月に 6 年生の児童を対象に全国学力・学習状況調査が行われています。全国学力・学習状況調査では、国語、算数の 2 教科と、生活状況について児童にアンケートを取る児童質問紙の調査があります。国語、算数については、A 問題(主に「知識」に関する問題)と、B 問題(主に活用に関する問題)があります。

この結果を考察し、学校での対応を考えることにより、今後の園和北小学校の児童の学力向上に努めていきたいと考えています。

1. 国語について

- ・A 問題、B 問題とも、今年度は昨年度より向上しているが、全国平均にはわずかに及ばなかった。
- ・領域別にみると、A 問題に関しては「言語についての知識・理解・技能」が全国平均より低くなっており、その他の領域はほぼ全国平均と同じである。B 問題については、「読むこと」は全国平均と変わらないが、「書くこと」「話すこと・聞くこと」が下回っている。

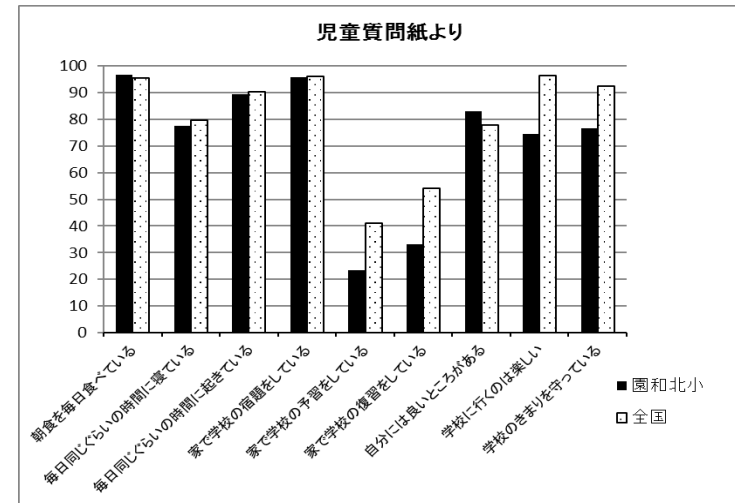
2. 算数について

- ・算数についても A 問題、B 問題ともに昨年度より向上しているが、全国平均にはわずかに及ばなかった。
- ・領域別にみると、「図形」の領域の正答率が低かった。
- ・「数と計算」の領域についても、全国平均を下回っているが、他の領域に比べて差が小さい。

3. 児童質問紙について

- ・生活アンケートでは気になる項目もあり、改善していかなければいけない所が多い。
- ・朝食はほぼ全員食べているが、寝る時間や起きる時間が不規則な児童が多い。
- ・昨年度、自分に良いところがあると思っている児童は 67% で、全国平均に比べて 10% 近く低かったが、今年度については 83% と大幅に増加し、全国平均を上回っている。
- ・家で予習・復習をしている児童は全国平均に比べて少ない。
- ・家庭学習の時間（平日）の時間別の人数を全国平均と比べてみると、全国平均では「1 時間～30 分」の児童が最も多いが、本校では「30 分～10 分」の児童が最も多い。
- ・家で全く学習していない児童も 7% いる。

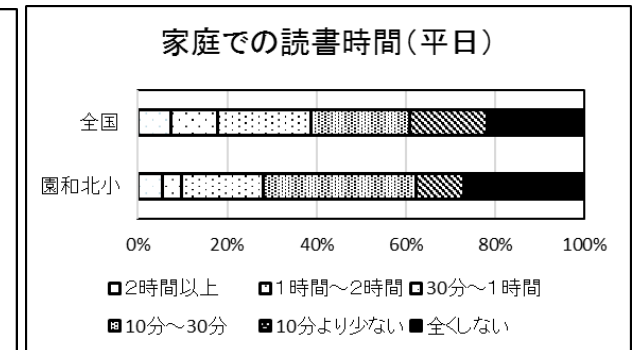
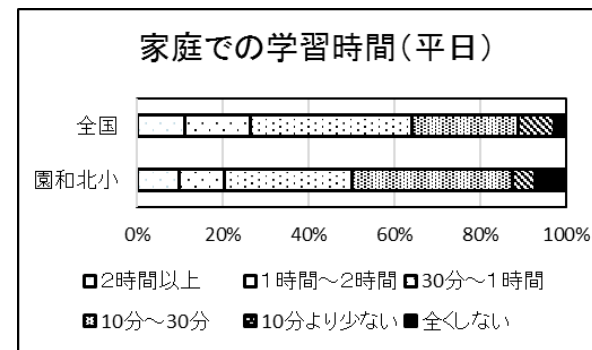
- ・昨年度と同様。読書の時間が全国平均と比べて短い。このことが、長文の読解力不足にもつながっていると考えられる。



全国学力・学習状況調査から考察できる園和北小学校の児童の実態については、以上のとおりです。

学力については、全国平均をめざし、子ども達の学力向上に努めていきます。

また、「自分に良いところがある」と感じている児童が増えてきていることから、自尊感情を高める指導の効果が現れてきていると考えられます。



4. 今後の学校としての対応

- ・今後も、どのクラスも落ち着いた雰囲気での学習できるよう適切な学級経営に努め、「学習規律のてびき」をもとに、1 時間 1 時間の授業を大切にする。
 - ・「家庭学習のてびき」を参考にして、宿題だけではなく、予習復習など家庭での学習時間を増やす。
 - ・読書活動を充実させる。
 - ・木曜日 6 校時の補充学習を充実させる。
 - ・月曜日、クラブ・委員会のない日に 5、6 年生は授業を実施する。
 - ・自尊感情を高められるよう、児童の良い所を見つけ伸ばす指導を行う。
 - ・ファミリー活動（縦割り活動）を充実させる。
- 等、学校全体で統一した取り組みを行い、子ども達の学力向上や自尊感情の高揚に努めたいと考えています。ご家庭でも、子ども達に意欲や自信を持たせるような声かけをお願いします。